

和歌山県西牟婁郡白浜町

白良浜他海水浴場における集客力アップ及び 顧客ニーズにあったサービスの企画開発



【活動の基本情報】

参加学生数：16名

(1年生：10名、2年生：6名)

活動期間：2023年6月～

担当教員：佐野楓

1. 活動実施の経緯

白浜町は、コロナ禍前まで年間約350万人の観光客が訪れていた。しかし、コロナ禍を境に観光客が急激に減少し、白良浜などの白浜町内の海水浴場の訪問者数が減少し、売店の利用者、購買金額が減少していた。そこで、観光客を呼び戻し、経済を活性化させるために、2023年の夏に海水浴場を訪れた観光客のニーズを調査し、海水浴場で販売するメニューの検討などを実施する。

2. 活動の内容

5月から7月にかけて、白浜町内の海水浴場で観光客を対象に調査するアンケートの質問内容を検討した。7月から8月にかけて、白浜町を訪問し、アンケート調査を行ったほか、(一社)南紀白浜観光協会が運営していた露店での食品販売などを体験した。9月からはアンケートの集計を行い、観光客の傾向やニーズをまとめ、1月より来年度の商品開発に向けて、具体的な販売商品案を考案している。

3. 活動を通じて

白浜町は関西有数のリゾート地、温泉地であり、周辺地域に比べ以前から観光客が多い地域である。観光地として知られている白浜町をさらに盛り上げ、訪れた人がいかに満足できる観光地にするかというハードルの高いことを学ぶことが出来たと考える。アンケートを通じて、観光客と交流をすることができ、白浜町の観光の現状について体験を通じて学ぶことが出来た。また、膨大な量のアンケートを集計することで、様々な意見を知ることが出来た。さらにそこから白浜を訪れる観光客の動向を知ることが出来たため、来年度に向けて、若者受けする商品案を考えることが出来た。

4. 成果ポスター

今年度の白浜LPPの活動内容

白浜LPP

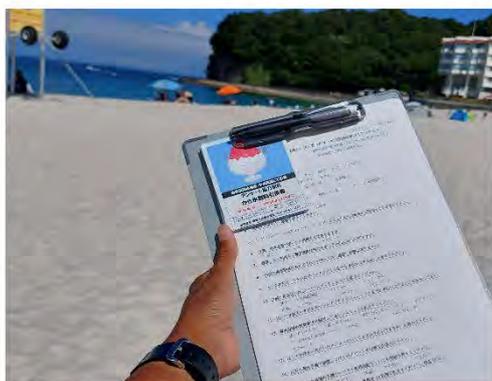
2023

2023.02.01

【制作】
観光学部
白浜LPP

アンケート調査実施

7月～8月にかけて3グループに分かれ、白良浜にてアンケート収集を行いました。アンケート内容は主に年代や交通手段から、求めている商品などについて回答して頂きました。



このアンケートを元に、商品開発を行う運びとなりました。

商品開発の検討

アンケートの結果から、私たちと年齢が近い若者をターゲットに、和歌山県のフルーツを使った映え志向の商品の開発を検討しています。詳細や連携する業者の方などは今後は南紀白浜観光協会の方を中心に今後話し合っており、来年度の商品提供につなげていく予定です。



これからの白浜LPP

来年度の活動方針

- ◆3月業者選定
今年度、南紀白浜観光協会と話し合った結果をもとに和歌山県の名産を使った若者向けの商品を作るべくその条件に合った企業の方々を選び関係構築します。
- ◆7～8月販売
実際に現地の白浜海水浴場で販売活動を行います。
- ◆9月に集計
販売した商品がどの層に、どのくらい人気なのかをデータにまとめます。



2023 年度 LPP 合同活動報告会 実施報告

和歌山県西牟婁郡白浜町

テーマ：白良浜他海水浴場における集客力アップ及び顧客ニーズにあったサービスの企画開発

報告では、白浜町の現状と白浜 LPP が今年度実施した活動を発表しました。非常に多くの方に報告を聞いていただきました。協働先である(一社)南紀白浜観光協会の方にもお越しいただき、発表を聞いていただくことができました。発表の中で頂いた質問とその回答を以下に掲載します。

Q.アンケートを取ってみて、面白いと思う結果はありましたか。

A.白良浜、臨海、江津良の各海水浴場でアンケート調査を実施したが、それぞれの海水浴場で利用者層が異なり、ニーズも異なっていた。関西から来る方が多く、ほとんどが自家用車で訪れていた。

Q.アンケートを答えてくれない方もいたのでは？

A.休んでいる方に話しかけることでアンケートを答えていただくことでアンケート回収率が上がるよう工夫した。

Q.アンケートの手段はどのような方法にしたか？

A.より多くの声を聞くために、口頭で質問しながら自分たちで回答を記入した。

なお、報告の動画を副リーダー(中川)の YouTube チャンネルにて限定公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=MBtkqzTXPN4>